

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	高齢者を対象とした高血圧治療薬の有益性及び安全性評価のための観察研究
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科臨床薬理学分野・准教授・前田真貴子
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2023年5月19日 【審査】大阪大学医学部附属病院観察研究等倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	研究機関の長の許可日～2028年3月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	1. 国立循環器病研究センター 研究責任者：中野一也 2. 大阪大学医学部附属病院 研究責任者：藤尾 慈
6. 研究の目的・意義	大阪大学医学部附属病院又は国立循環器病研究センターの入院又は外来診療において、高血圧治療としてアンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、カルシウム拮抗剤、利尿剤を処方された高齢者高血圧患者を対象に、患者背景（年齢・性別・基礎疾患等）、医薬品の処方歴、投与中又は投与後に認められた臨床所見等に関する診療情報を収集し、当該医薬品の処方動向調査並びに安全性及び有効性を評価し、高齢者高血圧患者における合理的薬物療法のためのエビデンスを構築することを目的とする。更に、合理的薬物療法が医療経済に及ぼす影響についても評価する。 本研究を実施することにより、高齢者における有益な降圧剤治療のエビデンス構築を行い、高齢化社会における医療経済学的影響を加味した最適な薬物治療の提案を目指す。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	2010年以降に大阪大学医学部附属病院又は2012年以降に国立循環器病研究センターで高血圧治療薬を処方された患者様のうち、診療情報を研究のために用いることに対して同意しておられる方の電子カルテ情報を用いる。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	性別、年齢、身長、体重、既往歴、原疾患、処方薬の種類と用法・用量、収縮期血圧、拡張期血圧、心拍数、臨床検査値（Na, K, Cl, AST, ALT等）、臨床所見、等。
9. 研究対象者またはその代理人の求めにより、研究対象者が識別される資料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	当該研究に診療情報が用いられることについて患者さんもしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合は、下記の「お問い合わせ先」まで連絡してください。対象者が識別できる試料・情報については、利用を停止いたします。ご連絡があった場合でも患者様に不利益が生じることはありません。
10. 研究資金・利益相反	【研究資金】大阪大学運営費交付金 【利益相反】研究機関の研究責任者、研究者が本研究に関わる利益相反に関して申告が必要な場合、当該研究者が所属する各研究機関が設置した利益相反審査委員会等の審査及び承認を受ける。
11. お問い合わせ先	大阪大学大学院薬学研究科・准教授・前田真貴子 住所：大阪府吹田市山田丘1-6☒ 電話番号：06-6879-5111（代表）